

統計力学的貪欲法による特徴空間のスパース表現

特徴空間におけるスパース表現のための
辞書学習アルゴリズムの提案



$$\arg \min_{\mathbf{D}, \mathbf{X}} \left\| \Phi(\mathbf{Y}) - \frac{\mathbf{D}\mathbf{X}}{\sqrt{N}} \right\|_F^2, \text{ subject to } \|\mathbf{X}_l\|_0 = T_0, \|\mathbf{D}\|_F^2 = N^2$$

- ノイズ下の線形辞書学習と等価。
- ノイズの強さはカーネル関数により与えられる。